

令和3年4月9日

非常勤講師のみなさまへ

新居浜工業高等専門学校長
八木 雅夫

新型コロナウイルス感染症拡大防止について（お願い）

愛媛県が「感染対策期(4月8日～4月21日)」に移行したことを受け、本校における新型コロナウイルス感染症に関する対策本部会議において、下記のとおり決定いたしましたので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、引き続き、教職員・学生ともに、感染予防策（マスクの着用、3密を避ける、手洗い、手指消毒など）を徹底してまいりますので、併せてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、今後、状況の変化に応じて対策が変更となった場合などは本校 Web サイトでお知らせしますので、適宜ご確認をお願いいたします。

○感染拡大地域(松山市、首都圏やまん延防止等重点措置の適用都道府県)への不要不急の往来は、自粛してください。

当面の間、感染拡大地域への往来については、自粛してください。やむを得ない事情により、対象区域を訪問・滞在する必要がある場合は、訪問先自治体の注意事項に従うなど、感染回避行動を徹底してください。【3つの密】を避け、移動途中や現地での感染防止対策に細心の注意を払うとともに、特に繁華街への外出など 不要不急の行動は慎むようお願いいたします。

本校での業務以外であっても、来校予定日の2週間前以降に、感染拡大地域へ訪問・滞在した場合は、特に体調管理に留意し、感染リスクの高い行動をした方は、各学科の担当教員（つながらない場合は教務係 0897-37-7724）まで事前にご連絡ください。学校が愛媛県の衛生主幹部局に相談し、感染リスクが高いと判断した場合は、面接授業の実施を控えていただくことがあります。

また、感染リスクが低いと判断された場合でも、帰県後2週間は、不特定多数との接触を控える（学生との面談などにも注意する）、密閉した場所での打合せ等には出席しない、至近距離での会話をしないなど、万が一に備えて感染拡大予防対策を徹底するとともに、体調に異変があった場合には各学科の担当教員（つながらない場合は教務係 0897-37-7724）へご連絡

絡ください。

さらに、対象区域以外への外出等についても、感染予防に十分にご留意ください。特に会食等「感染リスクが高まる5つの場面」（別添参照）を常に意識して行動し、基本的な感染予防策を講じるようお願いします。

○新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者と特定された場合（同居する家族を含む）、新型コロナウイルス感染症への感染を疑う症状が現れた場合は、各県の体制に従い医療機関等へ連絡するとともに、本校各学科の担当教員（つながらない場合は教務係 0897-37-7724）へもご連絡ください。

◆**検査の結果、陰性であった場合も必ずご連絡ください。**

◆**勤務時間外に事案が発生した場合は、【守衛室：0897-37-7710】までご連絡ください。**

- ・新型コロナウイルス感染症に関する緊急連絡である旨をお伝えください。
- ・氏名と学科（本校各学科の担当教員）、折り返し連絡のための連絡先をお伝えください。

○基本的な感染防止策の徹底を継続してください

外出・来校の際には、3密を避ける、マスクを着用する、手指消毒するなど、感染予防に十分に留意してください。3密を避けることが難しい場所への外出は控えてください。また、移動途中や現地（訪問先・帰省先など）の感染状況等を確認してください。

※マスクは適切に着用してください！（鼻出しマスクなど不完全な着用は効果がありません。）また、手指消毒は極めて有効ですので、こまめに実施してください。

○来校予定のある日は、出勤前に検温し、発熱等の風邪症状がみられる場合は、出勤せず、各自治体の体制に従って病院を受診する等の対応をお願いします。

なお、その場合は、教務係（0897-37-7724）までご連絡ください。

<参考>

※首都圏（1都3県）

令和3年3月21日まで緊急事態措置を実施すべきとされていた都県

※まん延防止等重点措置の適用都道府県

令和3年4月8日時点：宮城県、大阪府、兵庫県

以上

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

